



かながわの交通

2012
7

交通安全年間スローガン子ども部門(文部科学大臣奨励賞)

「分かってる」 だったらやめよう 二人乗り



子ども自転車神奈川県大会=小田原市立桜井小学校15連覇 高齢者自転車大会=金沢チーム優勝

ハンドルキーパー運動推進中!

飲酒運転根絶!!

今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(6月末現在)

◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成24年		17,380	73	20,573
平成23年		18,400	79	21,815
増減数		-1,020	-6	-1,242
増減率		-5.5	-7.6	-5.7

	総数	男	女
県人口	9,072,471	4,546,704	4,525,767
免許人口	5,526,999	3,220,749	2,306,250
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人

(県人口は平成24年6月1日、免許人口は平成24年5月末現在)

夏の交通事故防止運動

交通ルールを守って

夏を楽しく安全に

期間

7月11日(水)～7月20日(金)
の10日間

目的

夏のレジャーなどによる過労運転や夏特有の解放感による無謀運転などにより交通事故が多発することから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

スローガン

安全は 心と時間のゆとりから
交通ルールを守って
夏を楽しく安全に

重点

- 1 過労運転・無謀運転の防止
- 2 子どもと高齢者の交通事故防止
- 3 自転車の交通事故防止

交通安全協会の重点推進事項

- 各種会議、行事等を通じて、運動の趣旨を周知するとともに、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を呼びかける広報啓発活動を推進します。
- キャンペーンやイベントなどの開催を通じて、子どもと高齢者の運動への参加を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。
- 交通指導員等による街角アドバイスを積極的に実施し、「交通安全ひとこえ運動」を推進します。
- 「チリリン・スクール」等の交通安全教室を開催し、自転車利用者の安全意識の向上に努めます。

第43回交通安全子ども自転車神奈川大会 第1回交通安全高齢者自転車神奈川大会

快挙！ 小田原市立桜井小が15連覇



公益財団法人神奈川交通安全協会、神奈川県自転車安全教育推進委員会、神奈川県警察主催、神奈川県教育委員会、横浜市道路局等後援の第43回交通安全子ども自転車神奈川大会が、7月7日(土)、横浜市中区の横浜文化体育館で開催されました。

子ども自転車大会には、県下23小学校から92人の選手が参加、全国大会に倣って学科テストを初めて先

行実施し、開会式の後、安全走行テスト、技能走行テストに日頃の訓練の成果を競いました。また、今年から高齢者の自転車大会を開催したところ、13チーム39人が参加しました。各チームは、地区の予選を勝ち抜いてきたり、厳しい訓練を積んで大会に臨んで参加し、熱戦を繰り広げて付き添いの父兄や交通指導員から大きな拍手と声援を受けていました。

競技終了後は、県くらし安全交通課員が振り込め詐欺防止に関する寸劇を演じて会場の高齢者をはじめ参加者、応援者に振り込め詐欺の被害に遭わないよう呼びかけ、続いて県警交通安全教育隊が「チリリン・スクール」等について説明し、自転車事故の防止を呼びかけました。

大会の結果は、次のとおりでした。

子ども自転車大会の団体は小田原市立桜井小学校

小田原市立桜井小学校が15連覇を達成しました。

- チーム(出場選手) 諏訪間なお・6年、鈴木美桜・6年、奥津菜々子・6年、関野智也・5年)が15連覇達成、個人では、同校の諏訪間なお選手が見事優勝しました。
- 優勝した桜井小学校チームは、8月1日(水)に東京ビッグサイトで開催される第47回子供自転車全国大会に神奈川県代表として出場することとなりました。
- 高齢者自転車大会は、金沢交通安全協会チームが接戦を制し優勝しました。
- 子ども自転車大会の結果**
- 団体成績**
- 優勝 小田原市立桜井小学校
 - 第2位 厚木市立清水小学校
 - 第3位 開成町立開成小学校
 - 第4位 厚木市立緑ヶ丘小学校
 - 第5位 川崎市立岡上小学校
 - 第6位 大磯町立大磯小学校
- 個人成績(敬称略)**
- 優勝 諏訪間なお
- (小田原市立桜井小学校) 第2位 駿東美希
 - (大磯町立大磯小学校) 第3位 鈴木美桜
 - (小田原市立桜井小学校) 第4位 加藤富貴
 - (開成町立開成小学校) 第5位 赤池未睦
 - (川崎市立岡上小学校) 第6位 木村ゆい
- (開成町立開成小学校)

第3回評議員会の開催

平成24年度第3回評議員会が石坂会長はじめ評議員等58名出席の下、6月20日午後2時から県協会会館において開催されました。会長挨拶、来賓として県警永井交通部長の挨拶、東海林評議員長の挨拶に続いて「平成23年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成23年度神奈川県交通安全協会決算報告」のほか、評議員等の改選について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

会議の最後に、地区交通安全協会会長として永年ご活躍され、

地区交通安全協会事務長会議の開催

6月27日(水)午後、県協会会館で「地区交通安全協会事務長会議」を開催しました。会議の冒頭、県交通安全協会の高橋専務理事から平成24年度の事業計画、「ゼロパッド」の普及等これからの取り組みについて、県警と県からは交通事故防止等について、県協会の各部長等からは県交通安全協会当面の諸問題及び連絡事項について、最後に県警交通総務課担当官からチリリンスクール等自転車対策の取り組みについて説明がありました。また、会議終了

後、神奈川県被害者支援センターの高森節子氏から過去に交通事故で父親を亡くし、現在、被害者支援活動に携わっている立場から「被害者支援について」と題する講演がありました。



このたびご勇退されます4地区(瀬谷、田浦、足柄、秦野市)会長への感謝状贈呈式が行われました。



後、神奈川県被害者支援センターの高森節子氏から過去に交通事故で父親を亡くし、現在、被害者支援活動に携わっている立場から「被害者支援について」と題する講演がありました。

二輪車交通事故防止強化月間の実施結果

6月中の1か月間、「運転に ゆとり やさしさ 思いやり」をスローガンに、多発する二輪車の交通事故防止と二輪運転者の交通安全意識を高める運動を推進しました。各地区交通安全協会の取り組み活動につきましては、巻末のキャンペーン等に紹介しました。

6月中の交通事故総数及び二輪車事故は、発生件数、負傷者数とも減少しましたが、死者数は増加しました。特に二輪車事故は、死者数が5人増加し、交通事故総数の4割も占めています。

交通事故発生状況(6月中:概数)

	交通事故総数			二輪車事故		
	発生件数	死者数	負傷者数	発生件数	死者数	負傷者数
平成24年	2,816	15	3,265	830	6	726
前年同期比	-269	+2	-388	-66	+5	-65
増減率	-8.7	+15.4	-10.6	-7.4	+500.0	-8.2
構成率				29.5	40.0	-22.2

※構成率は交通事故総数に占める二輪車事故の割合を示す。

地区交通安全協会新会長人事(敬称略)



瀬谷 洪川正継
(平成24年5月29日付)



横浜水上 高橋幹雄
(平成24年6月13日付)



平塚市 川口淳
(平成24年5月17日付)



田浦 高戸輝男
(平成24年5月31日付)



秦野市 中田定美
(平成24年5月27日付)



足柄 鈴木真徳
(平成24年5月12日付)



座間 曾根寿一
(平成23年9月1日付)

インフォメーション

- 第47回子供自転車全国大会
8月1日(木)東京ビッグサイト
- 第45回二輪車安全運転全国大会
8月4日(土)、8月5日(日)三重県鈴鹿サーキット

自転車整備店へ表彰の伝達

自転車安全整備店として、点検整備に伴うTSマークの普及を通じて自転車の交通事故防止と被害者救済に貢献したことにより、平成23年度中のTSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店として、本県からは「株式会社 ハイパーマーケット・オリンピック川崎鹿島田店」と「株式会社 セキチュー横浜みなとみらい店」が選ばれました。

5月24日(木)当協会の高橋専務理事がオリンピック鹿島田店に赴き、(公財)日本交通管理技術協会(仁平園雄会長)からの感謝状を伝達しました(写真)。店長は「誠に光栄で、励みになります。これからも点検整備とTSマークの普及に努めます。」と受賞の喜びを語っていました。



1年に1回は自転車安全整備店で点検・整備を受け、TSマークを貼りましょう!



内閣府、(財)全日本交通安全協会などは、家庭、学校、職場地域等において交通安全について考え、話し合った内容、実践例、身近な体験談などを題材にした作文を募集しています。

● 応募期間

平成24年7月1日(日)から9月10日(月) ※当日消印有効

● 応募区分

①小学生の部 ②中学生の部 ③一般(高校生以上)の部

● 応募方法

◇ 応募時点での学年で書いた未発表のもので、自作、一人1作品に限る。

◇ 1,200字(400字詰め原稿用紙3枚)程度(電子メールも可)

◇ 小学生にあっては、800字から1,200字程度でも可

【小学生と中学生の部】

◇ 内容にふさわしい題名を付け、応募区分、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、学校名、学年、学校所在地・郵便番号・電話番号を明記

【一般(高校生以上)の部】

◇ 内容にふさわしい題名を付け、応募区分、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業等、電話番号、応募の動機(ポスター、チラシを見て等)を明記

平成24年度交通安全ファミリー作文募集

■ 送り先

〒550-0011 大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル701
(株)海風社内 「交通安全ファミリー作文係」
電話 06-6586-6227
Email:sakubun@kaifusha.co.jp

■ 賞

● 最優秀作:内閣総理大臣賞 各部1名

● 優秀作:内閣府特命担当大臣賞

・小学生の部 6名以内

・中学生の部 3名以内

・一般(高校生以上)の部 1名

● 佳作:政策統括官賞

・小学生の部 各学年原則5名以内

・中学生の部 各学年原則6名以内

・一般(高校生以上)の部 5名以内

● 副賞

・小学生の部 図書カード等

・中学生の部 同上

・一般(高校生以上)の部 賞金(最優秀5万円、優秀作3万円、佳作1万円)

■ 表彰

◇ 最優秀作受賞者は、平成25年1月16日開催予定の交通安全国民運動中央大会において表彰、優秀作及び佳作受賞者については、内閣府及び関係主催団体から表彰状等を送付します。



トピックス

～《当協会ホームページ》247万件のアクセス～

2005年10月に開設した当協会のホームページは、今年7年目を迎えます。

開設当初は、組織の体制や主な活動内容等、協会の概要を紹介するにとどまっていたが、2010年9月に大幅にリニューアルすることで掲載内容を一新。今では事業報告や定款掲載等、公益財団法人としての協会紹介を充実させるだけでなく、各季の交通安全運動等公益目的事業や収益事業、さらに免許更新などに役立つ情報まで幅広く新鮮な情報を掲載することで順調にアクセスを伸ばしてきました。平成23年度の集計では、リニューアル時の4倍強、247万アクセスを達成し、ユニークユーザーも6万3千人を超えています。

是非一度、新しく生まれ変わった当協会ホームページをご覧ください。

【ホームページアドレス】 <http://www.k-manner.or.jp/>

二輪車安全運転全国大会へ向け特訓中!

二輪車安全運転神奈川県大会上位入賞者が、来る8月4、5日に三重県鈴鹿サーキットで開催される全国大会に向けて特訓中です。

旭区の運転免許試験場において、全国大会までの毎週土曜日、特別指導員や県警白バイ隊員が、訓練に対する考え方、法規履行走行、技能走行のポイントを丁寧に指導するとともに、特に県大会では行わなかった傾斜地走行、レムニー走行を指導するほか、本年からビニールシートをコース内に敷設して水をまくなど悪路応用走行訓練を取り入れて、大会本番に備えた実践的な訓練を実施しています。全国大会本番に乞うご期待。



悪路応用走行訓練



茂原氏



山下氏

県民功労者表彰 ～受賞おめでとうございます～

公益財団法人神奈川県交通安全協会副会長 山下秀男氏
前公益財団法人神奈川県交通安全協会副会長 茂原啓一氏

山下氏は社団法人川崎市交通安全協会会長、幸交通安全協会会長等の要職にもあり、また茂原氏は今年5月まで三浦半島地区交通安全協会連合会会長、田浦交通安全協会会長等の要職をも歴任されており、両氏はこれら交通関係団体等を通じて多年にわたり交通安全思想の普及啓発活動を積極的に推進するなど、地域における交通安全活動に優れた成果を上げた功労により、6月4日、神奈川県知事から県民功労者として表彰されました。

●●●●● 新任事務長を紹介 ～よろしくお願ひします～ ●●●●●

【抱負】

6月1日付けで、金沢交通安全協会の事務長として就任しました早坂でございます。

前事務長も同じ早坂の姓（早坂待子さん）でしたので、よく親戚の方ですかと聞かれることがありますが、親戚以上に大変お世話になった方です。

私は神奈川県警に在職中、二度、金沢警察署で勤務しましたが、新米の交通課長として金沢署に赴任した際、交通キャンペーンやイベント等で大変お世話になったのが金沢交通安全協会でした。

前事務長は、その当時から金沢交通安全協会に勤務しており、豊富な経験に培われた才覚と持ち前のバイタリティで妥協を切り盛りしていた優れた方です。

この度、縁あって、その後任として勤務することになり、新参者の私にとっては大変重責ではありますが、少しでも当時のご恩返しができるかと思ひ引き受けることになりました。

金沢区は、海の公園・八景島などのレジャー施設や金沢文庫、称名寺、朝比奈の切り通しなどの名所が数多くあり、歴史の街とも言われており、土曜、日曜、休日ともなれば県外車両の往来も多く、子どもや高齢者の事故也多発傾向にあります。

新米事務長として、区民を悲惨な交通事故から守るため、金沢警察署及び関係機関・団体と連携を図りながら、安全で住みよい街金沢を目指し、交通安全協会役員、交通指導員及び交通ボランティアの方々と手を携えて、職責を果たしていきたいと思ひます。

【プロフィール】

私のふるさは山形県です。豪雪地帯で有名な最上地方で生まれ、母なる川、最上川と霊峰月山を仰ぎ見ながら育ちました。

今年、ロンドンオリンピックが開催されますが、私が警察官を拜命したのは東京オリンピックが開催された昭和39年です。



金沢交通安全協会
早坂光男事務長

42年間の警察人生の中で主に交通畑を歩み、平成18年3月金沢署を最後に退職し、自動車学校で勤務した後、今回、当安全協会にお世話になることになりました。

趣味は40代から始めたゴルフです。シングルプレーヤーではありませんが、ゴルフ仲間と和気藹々にプレーをして、仕事の疲れやストレスの解消をしています。

子供は息子が二人いますが、孫はまだいません。「はまっ子交通あんぜん教室」で愛くるしいピカピカの1年生を見ると、孫の顔が早くみたいと思うようになりました。

【抱負】

今年3月末で神奈川県警を退職し、6月1日付けで保土ヶ谷交通安全協会の事務長に就任した猪俣です。

保土ヶ谷区は、平成14年から19年までの5年間、保土ヶ谷警察署の交通課で勤務させていただきましたので、区内の道路事情や交通情勢などには通じているうえ、事務局の職員さんはもちろん、保土ヶ谷交通安全協会をはじめとする外郭団体の主な役員さんたちを存じ上げていたことから、微力ながらも立場を変えて、再び保土ヶ谷区内の交通安全に力を尽くしてみようと思ひました次第です。

区内の幹線道路は、国道1号と16号、市道環状2号が三角形を成しており、『魔のトライアングル』などと揶揄された時期もありました。道路の両側が丘陵地という地理的特性から二輪車の絡む事故が相変わらず多いため、二輪運転者や自転車利用者に警鐘を鳴らす機会をできるだけ多く作り、啓発に努めて1件でも減少させたいと思ひます。

どうぞ、よろしくお願ひします

【プロフィール】

秋田県出身、1月生まれの58歳。旭区で妻子との3人家族です。昨年暮れに腰椎椎間板ヘルニアの手術を受け、完治したので趣味のゴルフを再開したところです。平均スコアはもちろん110です(笑)。



保土ヶ谷交通安全協会
猪俣衛事務長

タイムマシーンをあげたい

22

警察官から見た交通死亡事故の回顧録

「取り返せない晴れ間」

やわらかい日差しの中、高速を家路につくファミリーカーの車内では、運転席に父親、助手席には下の娘、後部座席には母親と長女が座り、楽しい思い出作りはまだまだ終わらせないと言わんばかりの笑い声とあふれんばかりの笑顔がこぼれていた。

いつしか空から雨が落ち始めた。

雨足が強くなるにつれ、視界が悪くなり、父親が楽しい会話から抜けて運転に集中し始めたその時だった。

1台のトラックが、対向車線からはみ出して父親の前に突如として現れた。

誰もが声を出す間もなく、家族を乗せた乗用車とトラックは衝突し、助手席の少女以外は、車外に次々と放り出された。

少女は、体に食い込んだシートベルトに守られたが、父、母、姉は路面に全身を強く打ちつけられ、ほぼ即死だった。

私が現場に駆けつけた時、土砂降りの中、路上に横たわったまま動かない家族を、雨音をかき消すほどの叫び声とともに一心不乱に揺すり、必死に起こそうとする少女の姿があった。

私は、二度と目を覚まさない家族から少女をそっと引き離し、雨に濡れないように包み込み、雨に負けぬほどの涙を一緒に流した。

家族を乗せた乗用車とトラック

クは衝突し、助手席の少女以外は、車外に次々と放り出された。

少女は、体に食い込んだシートベルトに守られたが、父、母、姉は路面に全身を強く打ちつけられ、ほぼ即死だった。

私が現場に駆けつけた時、土砂降りの中、路上に横たわったまま動かない家族を、雨音をかき消すほどの叫び声とともに一心不乱に揺すり、必死に起こそうとする少女の姿があった。

私は、二度と目を覚まさない家族から少女をそっと引き離し、雨に濡れないように包み込み、雨に負けぬほどの涙を一緒に流した。

その246 多摩交通安全協会から

多摩交通安全協会(原田弘会長)では、多摩スポーツセンターで開催した川崎市セーフティサイクルフェア会場において、飲酒運転体験コーナーを設け、来場者に、飲酒運転の危険性を体験させ、チラシを配布しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



ハンドルキーパー運動の紹介



その245 鶴見交通安全協会から

鶴見交通安全協会(東海林昭市郎会長)では、鶴見地区運送事業協同組合会館において研修会実施後、JR及び京急鶴見駅前、同駅前商店街に移動し、飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その248 大和綾瀬交通安全協会から

大和綾瀬交通安全協会(古郡保正会長)では、引地台公園において、飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の幟旗及び「酒酔い状態体感メガネ」の看板を掲出し、同公園を訪れた市民に飲酒体験ゴーグルとラインチェッカーを併用して飲酒運転の危険性を訴えました。



その247 厚木署管内交通安全協会から

厚木署管内交通安全協会(石井廣好会長)では、国道246号水引交差点において、通行車両の運転者、自転車利用者、通行者に対し、チラシやティッシュを配布しながら飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



～賛助会員の紹介～

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。

- (株)日産サティオ湘南 — 平塚市宮松町
- 平塚信用金庫 — 平塚市紅谷町
- 日産車体(株) — 平塚市天沼
- 神奈川中央交通(株) — 平塚市八重咲町
- 日産自動車(株) — 厚木市岡津古久テクニカルセンター



茅ヶ崎地区交通安全協会
会長
石田 忠勝さん
いしだ たかつ

茅ヶ崎地区交通安全協会の歴史や立地、環境等につきましては、本誌本年1月号で紹介しましたので割愛しますが、今回は、「日本サーフィン発祥の地」茅ヶ崎で生まれ育ち、文字通り「湘南ボーイ」として歩んでこられた茅ヶ崎地区交通安全協会会長の石田忠勝さんを紹介します。

毎日の暮らしの中にも、人生のさまざまな幸せの記憶の中にも、いつも花はあります。花がそこにあるだけで、やさしい香りと美しい姿に癒され笑顔になれます。子ども達になりたい職業の一つ「お花屋さん」(フラワーショップ『清耕園』を経営されている石田会長は、茅ヶ崎市十間坂で11代も続く農家に生まれ、父親が戦前から温室で切り花栽培をしていたため、これを手伝いながら昭和40年には生花店を創業し、茅ヶ崎駅ビルのオープン時には支店を出店するなど事業の拡大が続いています。また、生花店経営のかたわら、茅ヶ崎ロータリークラブ、PTA、地元商店会の会長、消防分団長の要職を歴任し、現在は、茅ヶ崎商工会議所、農協、

生花業界等の団体の役職に就任しておられます。

石田会長は、当協会において平成14年に理事、平成20年から副会長、平成22年には会長、同年に県協会の評議員に就任し、公私とも大変お忙しい中、茅ヶ崎警察署や市の交対協等との連携、さらにはその時々々の交通情勢を見て、自らもリーダーシップを発揮され、各季の交通安全運動をはじめ自転車事故の防止など交通安全意識の高揚にも熱心に取り組んでいます。その結果昨年は、交通事故件数、死者数、負傷者数とも前年に比べて減少させることができ、その成果に多大な貢献をされたところであります。しかしながら本年は、5月末現在、交通事故が増加傾向にありますることから、警察署の指導を得ながら、また啓発活動等に工夫を重ねながら1件でも事故を少なく、悲惨な事故をゼロにしたいと決意しているところであります。

本誌1月号でもご案内のとおり、茅ヶ崎地区は多種多様な行事が多く、交通対策等では、その円滑な運営を裏方として支えているところ

で、今年は茅ヶ崎4大まつりとして知られている大岡越前祭、湘南祭は無事に終えましたが、浜降祭が7月、8月にはサザンビーチちがさき花火大会が予定され、海水浴シーズンと相俟って相当な人出が予想されます。また大学駅伝、湘南国際マラソン等の路上競技大会も多く、正月には寒川神社の初詣など冬の行事に伴う協会としての対策、会長の活躍にも事欠きません。

本業に加えて、各種団体の要職、そして安全協会会長として極めて多忙ではありますが、その合間に趣味のゴルフや読書で息を抜き、日課としている早朝のサザンビーチウォーキングを継続されるなど、今後とも健康に留意され、交通安全活動をリードしていただきたいと思えます。

(取材協力：茅ヶ崎地区交通安全協会)

こんにちは
「小田原交通安全協会」です

小田原交通安全協会は、小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の1市3町で高度経済成長時代の入口で自動車が飛躍的に激増し、交通事故が激増したことへの対策のため、現行警察制度の発足と時を同じく昭和29年10月に小田原市長が発起人となり設立され、以来行政職の市長・助役が当協会会長に就任してまいりましたが、平成20年度より54年間の慣例を変更し民間人の会長とすることにしました。

小田原警察署管内は、国道1号線・国道255号線・国道138号線・西湘バイパス・小田原厚木道路・箱根新道・ターンパイクなどがあり、それらを利用し天下の険と言われる国際観光都市の箱根や小田原城下町を訪れる人や、国道135号線を利用し真鶴や湯河原へ、更には伊豆方面への通過路として県内外からの観光客はもちろん外国要人も大変多く訪れ、年間を通じて交通量も多く山岳地帯を抱えているため、大変事故が多く、昭和30年からの死者数を見ますと毎年20人前後の方が亡くなり、特に昭和34年から47年の間は毎年40人～50数人の方が亡くなっていましたが、交

通関係者の積極的な交通安全活動により平成20年からは1桁台の死者数にとどまっております。

また、特に小田原市内の鉄道網は小田原駅を除いて東海道線4駅・御殿場線は2駅・小田急線4駅・大雄山線6駅・箱根登山線3駅があり全国でも珍しい19駅があります。

さて、皆様もご存知のとおり平成16年に小田原警察署の移転に伴い当協会も現在地に移転し同年に迎えた創立50周年記念式典の実施などについて現在の青木会長に大変なご尽力をいただきました。

その後、当協会の会長に民間人を登用することに伴い20年10月に小田原市助役を退任しておりました青木さんに9代目会長として再度就任していただき交通関係機関・役員・交通指導



員・安全活動推進委員の方々と協力して当面の交通安全活動は飲酒運転の根絶に加えて高齢者対策や自転車対策が重点課題となっておりますが、小田原地区は比較的人口の高齢者率が高く又自転車事故も少なく、このため、各種の交通関係団体あげて交通事故の減少と安全な街づくりを目指して積極的に取り組んでいかねばと常々心がけております。

(川辺 記)

地区交通安全協会の活動紹介

～二輪車交通事故防止強化月間～



緑
緑警察署前交差点において、二輪車交通事故防止・暴走族追放キャンペーンを行い、二輪運転者等にチラシや啓発物を配布しながら交通安全意識の高揚を図りました。



磯子
磯子警察署前交差点及び二輪販売店前において、二輪運転者を対象にチラシやポケットティッシュを配布しながら、交通安全を呼びかけました。



横須賀
久里浜中央自動車学校において、県警本部白バイ隊員等の協力を得て「ヤクルトレイ」33人に対し、乗車姿勢・点検要領をはじめ、制動・低速バランスなどの二輪運転実技講習を実施しました。



麻生
県道世田谷町田線の麻生警察署前交差点において、通行中の二輪運転者等に二輪車は運転者から見えにくい特性など、チラシ等を配布しながら事故防止を呼びかけました。



大磯地区
第二交通機動隊、大磯警察署等との連携により、西湘バイパスで40歳以上の二輪運転者に呼びかけ、大磯ロングビーチの駐車場に引き込んで、点検要領・ブレーキنگなどシニアライダースクールを実施しました。



大船
環状4号鎌倉女子大前交差点において、信号待ちする二輪運転者に対し、啓発グッズを配布しながら、交差点での安全確認など交通事故防止を呼びかけました。



相模原南
国道16号線大野交番前に二輪運転者を呼び込み、チラシや啓発物を配布しながら二輪車の交通事故防止・暴走族追放を呼びかけました。



伊勢原
国道246号警察署前において、無理な追い越し、割り込み、交差点での安全不確認などで二輪車事故全国ワースト3位であることを看板、チラシ等で周知しながら呼び込み指導しました。

あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

年とともに体の機能が低下してくるのは定めですが、気持ちのほうは、昔から年を経るにしたがって角が取れ「まるく」なるといわれております。しかし、ストレス社会の昨今、全体に余裕がなくなってきたり、せいか年配の方でも俗に「切れやすくなる」ようになって感じているのは私だけではないと思います。

反面、お年寄りでも年齢を感じさせないハツラツとした人、チャレンジ精神旺盛な人、あるいは、相応にゆとりのある人などを拝見すると、それまで歩んできた人生が充実したものであったのかなと羨ましく感じられるものであります。

「体力」・「気力」と並列でいわれますが、体力が十分でなければ気力も萎えがちになります。高齢化社会が議論される今、食事の面や適度の運動を心がけることはもちろん、普段からこまめに体を動かすことを習慣づけることで「老け込み防止」を図りたいと思っております。

さて、最近、学童の列に居眠りの車が突っ込むというような、重大・特異な交通事故の発生が目立っています。年々、高齢運転者が多くなっている現在、人生仕上げの段階でこのような死亡事故・重傷事故は絶対に起こしたくはありません。まずは注意力・判断力・瞬発力いずれも衰えがきていることを自覚して、人生訓である「気は長く、心はまるく、腹を立てずに、人は大きく、自分は小さく」をモットーにハンドルを握りたいものであります。

(K・K記)